



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: https://www.asachu-rc.jp



R.I.会長 ジェニファー・ジョーンズ

地区ガバナー 嶋村文男

2022 - 2023 年度テーマ

クラブテーマ 「 前 進 」

クラブ会長 伊石佳高

本日の例会

会員卓話「私と英語」

田村順二会員

今後の例会（卓話）予定

6/7	会員卓話	岩戸正一会員
6/14	未定	金原亭馬生師匠
6/21	クラブ協議会 本年度事業報告	
6/28	会長幹事退任挨拶	

2023年5月31日

第1737回例会

会長 伊石佳高

幹事 立野秀一



6月結婚記念日

3日（51周年）上原ご夫妻 ・ 9日（13周年）鶴原ご夫妻
 10日（34周年）高木ご夫妻 ・ 11日（35周年）澤野ご夫妻
 28日（25周年）斎藤ご夫妻

前回（5/24 1736回例会）の記録

来訪者紹介

- ◆ゲスト 0名
- ◆ビジター 0名

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
45名	2名	6名	34名	6	85.0%	

会長挨拶<伊石会長>

・皆さんこんにちは。

本日は3月29日のクラブフォーラムを経て、5/10の第11回理事役員会にて財政健全化検討委員会の答申を受け5/11付けで会員の皆様にメールにてクラブ細則改正の問い合わせをさせて頂きました。

クラブ約款第14条『改正』に基づき10日間の告知期間が過ぎましたので臨時会員総会を開催させて頂きます。議題は年会費の改定でございます。

改定案 クラブ細則第5条第2節

【現行】会費は年額¥300,000とし毎年7/1及び1/1に納入するものとする



【改定後】会費は年額¥330,000とし毎年7/1及び1/1に納入するものとする

それでは進行を立野幹事宜しくお願い致します。

皆様のご協力のお陰で本日出席会員の3分の2以上のご同意を頂きました。次年度より年会費の改定を行わせて頂きます。

ありがとうございました。

幹事報告<立野幹事>

①各委員会の委員長は下半期事業報告の提

出を6月7日までに幹事までお願い致します。

委員会報告

<江連次年度幹事>

・本日、例会修了後第3回被選理事・役員会

を開催いたしますのでよろしくお願い致します。

ニコニコボックス

<伊石会長、立野幹事、古谷、後上、浜中、本間、五十嵐、伊藤、加藤、宮崎、中橋、中村、太田、大塚、佐藤、澤野、関原、内田、上野、上原、吉沼>

・本日の卓話は、江連会員の卓話「歯周病について」です。江連会員よろしくお願い致します。

<土師、潮田、江連、片岡、長沼、小林、渡辺、松本、高木、後上>

・令和5年 浅草神社例大祭 三社祭が無事に恙なく齋行まつりされました。ご関係者の皆様に心から感謝申し上げます。実に4年振りの通常の齋行でした。

<太田>

・東北復興支援継続を！

<原田>

・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。48回目の記念日になる予定でした。

<立野>

・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

会員卓話

「歯周病について」



江連雅孝会員

歯を失う原因として歯周病が40%、虫歯が30%そして歯の破折が20%とされています。

歯周病の定義

歯と歯ぐき（歯肉）の隙間（歯周ポケット）から侵入した細菌が、歯肉に炎症を引き起こした状態（歯肉炎）、なおかつ歯を支える骨（歯槽骨）を吸収して歯をグラグラにさせてしまう状態（歯周炎）を合わせて歯周病という。

歯肉炎は可逆性で歯周炎は非可逆性である。

歯周病の成立には直接的な原因（プラーク）と局所的リスクファクター（口腔内の環境など）さらに全身的风险ファクター（生活習慣など）がかみ合わさって歯周病に罹患する。歯周病はその進行段階によって大きく2つに分けられ炎症が歯肉だけにある状態を「歯肉炎」といい、炎症が歯肉から歯槽骨や歯根膜にまで広がった状態を「歯周炎」といいます。「歯周炎」は進行状態により軽度、中度、重度に分類される。また、歯周病は痛みなどの症状が少ないため、気づいたときにはかなり進行してしまふ場合がありますので注意が必要である。

歯周病の治療方法は歯に付着した細菌の塊である歯垢を取り除かなければ、歯周病の進行を食い止めることは出来ない。そこで、治療では、大元の原因である歯垢や歯石を取り除く『歯周基本治療』が大切である。これは、自分自身がおこなう『セルフ・ケア（ブラッシング）』と、歯科医院でおこなう専門的な『プロフェッショナル・ケア』がセットになって行ふ。

歯周病と全身疾患との関係については歯は硬組織が体の中と外を貫いている器官で、その硬組織と軟組織をつなぐ境界が歯肉です。そこには常に細菌が常在しており、炎症を起こすと歯肉の上皮組織の断裂が起き、容易に細菌が侵入してきます。その細菌が血流にのり、全身にまわって各臓器に定着すると何らかの全身疾患が引き起こされる場合がある。健康な方では、免疫機構により細菌は排除されますが、何らかの疾患をお持ちの方や、高齢者は抵抗力が弱く、細菌を十分排除できずに定着してしまう恐れがある。